

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	都市計画事務【都市計画に関する証明事務】					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4	-	1	-
【施策名】市街地の整備	総合計画書 (ページ)	83			

予算名	款	8	土木費	項	3	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業	3	都市計画事務費
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	---------	----	---	---------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 建築確認申請等で、都市計画の証明が必要な人。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 証明申請件数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 申請に基づき、遅滞なく証明書を発行し、当該地の都市計画の内容を知ってもらう。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 申請に対する証明書発行件数の割合
	③ そのために何をしましたか。 申請に基づき現地確認を行い、実測図に都市計画に関する情報を記載して証明書を発行する。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 証明書作成件数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	49	56	44	/
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	/
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100
	目標値設定の考え方		申請のあった証明について確実に証明書を発行する。				
活動指標	③の数値	件	49	56	44	/	/

3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	開始時期：不明 開始目的：都市計画に関する情報を提供するため
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	特になし

仕 事 の 内 容	都市計画事務【都市計画に関する証明事務】					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名 神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし。					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	特になし。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	特になし。					
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	特になし。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 申請に基づき、速やかに、かつ正確に証明書を発行していく。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 職員の技術の向上に努める。					
成果	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
	成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。